

# 学校関係者評価委員会評価結果(令和7年度分)報告書

学 評 委 第 2 号

令和8年6月23日

一般社団法人秋田市医師会長

秋田市医師会立秋田看護学校校長

湊 元 志 様

学校関係者評価委員会

委 員 庄子公子

委 員 大原 樹

令和8年5月26日付け秋市医看第68号により依頼のありました令和7年度自己評価結果に対する学校関係者評価について、本委員会の評価結果を取りまとめましたので、秋田市医師会立秋田看護学校学校関係者評価委員会に関する規程第11条第1項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

なお、評価結果の報告については、自己評価項目全般にわたるのではなく、次表に掲げる学校が定めた重点目標に係る評価項目を中心に評価結果を記述しています。

| 評価項目(大)       | 重点目標                                                   |
|---------------|--------------------------------------------------------|
| 第1 学校運営       | 個々の教職員が自らの役割を認識し、確実に業務を遂行する。                           |
| 第2 教育理念及び教育目的 | 学生が目標達成に向けて主体的な活動を通じ、自立した成人学習者として成長できるよう支援する。          |
| 第4 教育課程経営     | 学生の看護実践能力の向上に向け、臨地実習における実習指導と教員との協働体制を強化し、学生の実体験を保障する。 |
| 第14 経営・管理過程   | 教育環境の改善・整備を図るとともに、教育・学習活動等に関する情報提供を積極的に行う。             |
| 第15 入学等       | 受験者数を確保する。                                             |
| 第16 国家試験      | 看護師国家試験に全員が合格する。                                       |

## 1 自己評価大項目「第1 学校運営」

- (1) 教員間の役割については、提示された役割分担及び内容をもとに、教務会議等でアドバイスを受けながら確実に行的っており、今後も継続して取り組むようにしていただきたい。

## 2 自己評価大項目「第2 教育理念及び教育目的」

- (1) 各教室や玄関ホール、看護実習室等に教育理念や教育目的、教育目標を掲示しているとともに、始業時オリエンテーションなど折に触れて意識づけを行っている。学生やその保護者に周知徹底を図るという意味ではとても良い取組であるが、今時の若者の目線に合わせる必要がある。時代の流れを注視し、学生に届く周知方法を検討しながら、講義や実習先での心構えや生活態度等の改善に是非役立てていただきたい。

## 3 自己評価大項目「第4 教育課程経営」

- (1) 自己評価の採点で基礎看護学の評価が低いが、カリキュラムの一部を令和8年4月から改めたようであり、今後改善が見込まれることから、今後の自己評価を期待している。
- (2) 秋田でも様々なところに外国人が増えてきているようなので、この先の秋田を考え、必要に応じて情報を収集し、外国人入学生に係る経費等の検討を行うなど相応の準備をしていただきたい。

## 4 自己評価大項目「第14 経営・管理過程」

- (1) デジタル化による実習記録のやりとりや、LINE等による業務等の連絡などにより業務の効率化が可能と考えるので、検討していただきたい。
- (2) 学校の近隣にコンビニやスーパー等がない中で、昼休みに、月2回パンやデザートを販売するベーカリーや、月に1・2回キッチンカーも来校してくれているのは、学校自体のアピールポイントにもなっていると思われるので、積極的にPRしていただきたい。
- (3) 玄関は以前と比べ整理がなされていたが、もう少し明るさがあると思う。玄関は学校の顔でもあるので、印象を良好にすることはイメージアップにつながる。

## 5 自己評価大項目「第15 入学等」

- (1) ①一般入学試験はすべり止めの的な感じで合格しても辞退者が多く確保が

難しいこと、②入学を確約する推薦入学試験での確保が効率的であること、③社会人入学試験では年齢が若い方が適応力があり、看護師を雇用する側も採用しやすいこと等から、少子化の影響で受験生の確保が難しいことは理解するが、看護学校の健全な運営のために、受験生の確保ひいては入学生生の確保に最大限努めていただきたい。

- (2) 看護師は大変であるという印象があるが、安定したよい職業であると認識させることが入学者の増に繋がると思われることから、様々な媒体を通じて看護師のイメージアップを図り、受験者の増に繋がる取組を積極的に行っていただきたい。
- (3) ホームページは、受験生にとって情報入手の有効なツールとなるので、良質な情報を提供し、入学生生の確保に努めていただきたい。
- (4) 以前、「学校説明会」という呼称を用いていたが、「オープンキャンパス」と名称を改めたのは、時宜にかなっている。
- (5) ホームページに動画が載っていないが、今後は写真だけではなく、動画形式での学校生活の紹介があってよいのではないか。インスタグラム等を利用した動画紹介を検討していただきたい。
- (6) 受験生確保のための学校訪問に関して、高校を訪問しているようだが、看護師の仕事を知ってもらい、イメージアップのためにも中学校にも拡げて足を運んでもいいのではないか。

## 5 自己評価大項目「第16 国家試験」

- (1) 模擬試験や過去の国家試験への取組、教員全員での成績低迷者への学習支援を行った結果、全国平均を上回る合格率の高さであったので、今後も継続して丁寧な学習指導していただきたい。

## 6 まとめ

- (1) 学習環境面での整備が課題であり、学習及び学習以外の面においても効率化を図り、学生が落ち着いて学習できる環境整備に努めていただきたい。
- (2) 学生の確保については、現況と同様な方法では効果的といえないため、新たな視点で取り組んでいただきたい。
- (3) 授業料等減免制度、教育訓練給付金制度、奨学金制度等については、学生やその親御さんにとって関心の高い事項なので、わかりやすく積極的にPRしていただきたい。

以上